**1月30 日　Trunk株式会社　代表取締役社長CEO　西元　涼　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

学生が待つ収入格差による学びの不平等と起業が持つ3年以内のミスマッチによる離職という2つの社会問題に対して、それらの課題を違いに補いあえる仕組みづくりをなされていて、素晴らしいと思いました。大学で学んでも、就職後に直接活かせるスキルはどれだけみにつけられるのか不安に思っていたので、TRUNKさんが開催されているトレーニングで仕事で使えるスキルを身につけられるとその不安が軽減され、やりたいことをやれる人へと近づけるだろうと思いました。TRUNKさんのように社会問題を解決する企業は世間から求められるため、そういった企業は永続的だと思うので、人が求める理想を追求する企業で働きたいと改めて感じました。 (経営学部 1年)

・理想を大切にする

・自分の興味のある分野の理想の状態を思い浮かべる

・Trunkは利益を最大化するための会社ではない。

（学び手には無料で、企業に資金を提供してもらう）

西元さんの講演で特に注目したのは、スピーチの興味深さと分かりやすさです。Trunkの業務理念を軸に過去の業績、現在の動向、未来にやっていきたいこと、メッセージなどの紹介をし、そこに理路整然とした時系列に沿う論理のわかりやすさとそれに裏付けされた情報量の多さが加わり興味をひかれました。スピーチの参考にしたいと思います。（経営学部　１年）

西元さんが立ち上げた会社TRUNKのシステムが本当に今の日本社会の就職に必要なスキルを身につけるために必要なものだと思います。また、西元さんからのメッセージ

“1.時間を大切にしよう。2.たくさん失敗しよう。3. 理想から考えよう。“　この3つを軸に話していただいたお話がとても心に残りました。特に、理想から考えよう、のお話の中で、ビジネスを通じて自分が作り出したい世界観があり、自分がどんな理想を持っているかをビジネスを通じて実現していくという考え方が本当に大切だと思いました。(経営学部 1年)

「実際にやってみなきゃ、やりたい仕事なんて分からない」という言葉は、近年のなかなか行動を起こそうとしない若者たちにとって非常に興味のそそられるものだろうと思いました。失敗を恐れるのではなく、若いからこそたくさん失敗していくことで多くの経験を積んでいきたいです。身の回りにあふれているチャンスを積極的につかむことが重要だなと感じました。 (経済学部 1年)

「生まれた場所に関係なく、やる気次第で誰でも活躍できる世界」という言葉にとても心を掴まれました。私も長野出身で「都会に住んでいる人とは勉強できる環境、就職先もまったく違うんだろうな。初めから都会に生まれていればな……」と高校生時代ずっと考えていたからです。ですからTrunkの理念にとても共感できて、素直に参加してみたいなと思いました。また、私たちに向けたメッセージも心に響きました。特に「時間を大切にしよう」という言葉が印象に残りました。大学生になって自由に使える時間が増えてから「私は時間を無駄使いしているのでは？」と考えることが増えたからです。今ボーっと過ごしている時間にも人生のろうそくは減り続けているのだから、やりたいことを精一杯やって失敗したり成功したりして学んでいくべきだと気づかせて頂きました。（教育学部　学校教育課程　１年）

理想から考えようという言葉が特に印象的です。最近自分の事業を投資家の前でピッチをする機会を頂いたので、プロダクトが世の中に広まったらどのような社会を実現できるのかということをよく考えています。今ある技術だけではすぐに実現できるとは言い難いかも知れないですが、このような未来を実現するためにはどのような過程を経る必要があるかと考えると、様々な具体的な手法が思い浮かんでくるので、これからも理想を大事にして物事を考えていきます。（理工学部　数物電子情報系　３年）

「教育」という領域にいかに民間が介入していくかという視点は、新鮮で驚きに満ちた興味深いものでした。理想から考えるというのは、私自身のモットーとしてきたところでした。西元さんのお話から、より理想というものが何なのかということを見つめてみると、「私はこうしたい」「社会をこうしたい」「こうあってほしい」というものが具体的になり、そのために必要な要素、実現に向けた方法ということが考えやすくなると同時に将来へ向けてのワクワクが募りました。（都市科学部　都市社会共生　1年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

私は教育学部なので今日の話はとてもためになりました。お金のない子供にも平等に教育をという素晴らしい理想の姿、ぜひ実現させてほしいなと思いました。（教育人間科学部　３年）

自分が将来どのような生活をして、どのように社会貢献していきたいかについて考え、そこから見えてきた理想像に近づくためにどのような経験をすればいいのかを考え、必要な経験をしていこうと思いました。（経済学部　経済学科　１年）

西元さんは「将来どうなっているかなんて分からない」のだから自分の『軸』を決める必要はなくて、大切なのは『今何をやりたいか』『３年後どうなりたいか』ということだ」とおっしゃっていました。私は今絵本のイラストに関する仕事に興味を持っているのでぜひTrunkのトレーニングに参加して、3年後どんな自分になっていたいか見つけるきっかけにしたいと思いました。（教育学部　学校教育課程　１年）

まず、西元氏がおっしゃっていた「理想から考える」ための「理想」を持ちたいと思った。発想の転換を行うことで、新しい目標、理想が現れてくると考える。やりたいことを達成するために、本気で叶えるための道順を考えていきたいと考えた。また、西元氏が「自分の軸を作る必要はない」とおっしゃっていたのを聞き、その時その時の自分の考えを1つ1つ大事にしようと考えられるようになった。今の自分の軸だけにとらわれることなく、分限の可能性を広げていきたい。（理工学部　化学・生命系学科　2年）

私自身、「地方におけるプロモーションをよりクリエイティブに勝つ影響力のあるものにしたい」という理想を持っています。そうしたビジョンをかなえる第一歩として、現在Webデザインやプログラミングをインターンで学ぶと同時に、実際に案件を頂いて仕事をさせていただいていますが、今回のご講演を通して、それを理想として持ち続けることが重要であると感じさせられました。そうした途上において、とにかくなにかをやることに対して躊躇せず、時間を最大限に活用していくべきだと考えさせられ、改めて気を引き締める機会となりました。（経営学部　1年）

一度も体験せずに自分の将来の職に就くのは、スポーツの例えのように、合う、合わないがわからないと思うので、インターンシップやこの社会のセミナー（学習会）などに参加したり、会社の社風を重視すべきだとすごく感じた。（理工学部　数物電情学科　2年）

自分は大企業への就職を将来のビジョンとして持っていたのだが、西元さんのお話を聞いてこれから様々な職種にインターンに行き、自分という人間の特性や長所・短所を知りたいと思った。キャリアマネジメントとライフマネジメントをつなげなければならないと考えた (経営学部　１年)

**問３**　**この授業でご講演いただいた講師の方々の中で、最も刺激を与えてくれたと思う方は誰ですか？あるいは、最も心に残った言葉は何ですか？それはなぜですか？**

私が最も刺激を受けたのは株式会社GIFMAGAZINEの大野謙介さんです。１つ目は言葉1つ1つの力強さです。大野さんは学生の頃から海外に行ったり洋服販売を自ら行ったり多くの経験をして起業されたためか発言にとても重みがあり、心に刺さりました。2つ目は起業に駆ける思いの強さです。何度失敗してもあきらめずに挑戦しつづける気持ちが大切なのだと、講義を通して学ぶことができました。私が将来についてきちんと考えるきっかけを与えてくださった講義となりました。（教育学部　学校教育１年）

TNPパートナーズ 呉 雅俊氏：失敗を認めるという考え方は、成功を求める自分にとって衝撃的であり、新たな見方を与えてくださったから。 (経済学部 経営学科 1年)

キーストーンテクノロジー　岡崎氏：食料問題を解決する事が出来る素晴らしい技術に感動したから。

篠塚孝哉氏：「人生は微分」という考え方が印象に残っているから。(経営学部 経営学科 1年)

タイジ株式会社　堀江 裕明 氏：

・既存の組織を改革していく方法がとても印象に残ったからです（経営学部　1年）。

・「成熟市場」での戦略のお話が理解しやすく、これからの日本はこの課題について考えていかなければならないと感じたから。(経営学部 1年)

サンクトガーレンの中川美希さん。日本でダメなら海外で、個人でダメなら集団で、とあきらめず色々な方法で目標に向かってアタックする姿勢に感動しました。ビールなど飲食物は衛星管理や味の好み、値段など、厳しい決まりや不確かな基準があり大変だが、好きなもののためにひたむきに努力する姿が格好いいと感じた。(経済学部　１年)

NeoLabの大川さんがもし自分が大学1年に戻るとしたら

1. 人生のテーマ設定と修正をもっと早くに習慣化する
2. 行動してから考えることを徹底
3. 3**．**今しか会えないオトナに会いに行く

4.人間関係を大事にする　と言っていたのが印象に残っています。（経営学部　１年）

TRUNKの西元氏

・教育学部であり大学生の教育について考えているので興味深かった。(教育人間科学部 学校教育 4年)

・学生に対する多くのメッセージを残してくださったから。(経営学部 経営学科 1年)

・社会問題を解決するための企業や理想型を追求することの素晴らしさを改めて学び、また、大学生活や就活でどのような心構えや行動が重要なのかを具体的に教えていただき、今後のアクションに繋げたいと思うことがたくさんあったからです。 (経営学部 経営学科 1年)

最も刺激を受けた講演者（敬称略）回答者数（複数回答あり）： 13

西元涼：7

中川美希：3

花房弘也：2

高宮慎一：1

大野謙介：１

選べません：1

同じ横国に通っていたとは思えないほど、学生の頃から色々な行動をしていて、私も行動的になることで、変われるのかな、と思うことが出来たことが理由として、挙げられる。（経営学部　経営学科　1年）

**授業スタッフの感想**

最終回の講義でしたが、春学期に引き続き、西元さんのお話を聞くことができて、とても良かったです。今後の自分のキャリアを考えるうえで、役に立つアドバイスに溢れていたので、色々と参考になりました。この1年間、起業家、企業経営者、ベンチャーキャピタル、広報と、企業を作ったり支える方々のお話を聞き、高校のときに抱いていた企業経営者の固いイメージと全く異なっていて、非常に新鮮でした。春学期の馬路村の村長さんのお話も今後に生かせると思いますし、その他のお話も自分に合ったものを選んで、自分の行動に繋げていきたいです。1年間、色々とお世話になりました。有り難うございました。

この授業はモチベーションを保つのにとても良かったです。そして新たな考え方を知ることができました。特に印象に残っているのは、「親に高校行くの？と言われて、自分で選んで高校に進学したから楽しかった。」という言葉です。やはり自分の満足感を作るのって「自分が選んだ感」だと思うので、改めて自分の考え方も整理できました。有り難うございました。来年度も時々この授業潜るかもしれません(笑)